

## 音楽学部・人文学部・人間発達学部教員年次研究報告書

(2007年1月～12月)

本学教員の教育研究活動の一部を学内外に報告することを目的として、例年どおり「研究論集」に「教員年次報告」を掲載いたしております。大学の自己点検・自己評価に役立てることができれば幸いです。(掲載はアイウエオ順)

### 【音楽学部】

赤石敏夫

1. 「第11回 JFC アンデパンダン」東京オペラシティ・リサイタルホール  
2007年1月7日 ピアノのための「回想の日々2006」「漆黒の空にシリウスは輝く」「メランコリー」「解き放たれる風」「無我の論理」 Pf: 仲村渠真紀 主催: 日本作曲家協議会
2. 「現代の音楽展2007 室内アンサンブル展Ⅱ」東京オペラシティ・リサイタルホール  
2007年3月14日 「アリウエン」—木管五重奏のための(2007) アール・レスピラン Fl: 田中隆英 Ob: 中根康介 Cl: 有馬理絵 Fg: 岡本正之 Hn: 小鮎信次 主催: 日本現代音楽協会
3. 「祝・北海道洞爺湖サミット～ひとあしお先に～音楽でサミット」函館市芸術ホール(ハーモニー五稜郭) 2007年11月23日 フルートとハープシコードのための音楽「パピヨン」 Fl: 松石隆 Cem: 森洋子 主催: 函館音楽協会
4. 「第18回キシコ国際交流音楽会」大田区民ホール 2007年12月20日 歌曲「遺跡の星に」(日本初演) MS: 青山恵子 Pf: 松山元 主催: ワールドプロジェクト音楽協会

#### \*現在の研究課題・活動状況

- ・入試の軽減化による音楽の基礎力不足を補いつつ高度な音感教育をいかに行うか。
- ・応用演習科目の充実(社会ではどのような実力を求めているか)
- ・これからの音楽大学の役割(社会にどのような人材を輩出するか)
- ・効率的で音楽的なソルフェージュ教材の開発
- ・効率的で音楽的なソルフェージュ教育の実践法の研究

・自作品の創作

石 村 真 紀

1. 日本音楽療法学会第6回近畿学術大会 スーパーバイズ 同志社女子大学  
2007年3月11日
2. 講演・対談「交流について～心理治療と音楽療法の視点から～」京都プロア  
ルテホール 2007年6月3日 with 師岡宏之
3. ワークショップ「音楽療法家のための音楽療法」滋賀県音楽療法研究所  
2007年6月24日
4. 「即興演奏講座」西宮音楽療法研究会 10回シリーズ 神戸生活創造センタ  
ー
5. マリンバとピアノによる即興演奏コンサート 神戸新生バプテスト教会  
2007年6月 石原興子（マリンバ）
6. (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構音楽療法講座 「専門講座事例学習  
(児童期・成人期)」2007年8月 3回シリーズ
7. ワークショップ「即興・コラボレーション」泉州音楽療法研究会 2007年  
8月
8. ワークショップ「即興」兵庫県音楽療法士会 第4回地区研修会 2007年  
12月 神戸生活創造センター
9. (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構音楽療法講座 「専門講座（実技分  
野）即興技法の導入（1）」2007年12月25日
10. ラジオ関西特番・製作協力・出演「音楽療法の現場を追う～響け音、繋げこ  
ころ」2007年12月

\*主な研究課題：即興による表現活動と療法的効果の関連性

\*主な活動：日本音楽療法学会評議委員、近畿支部課題研究委員会委員長、兵  
庫県音楽療法士認定審査会審査委員

泉 貴 子

1. 東京芸術大学後期博士課程学位審査会 2007年2月1日 東京芸術大学内  
第3ホール ヴェルディ：《ルイーザ・ミラー》ハイライト 共演：今尾  
滋、志田雄啓、泉博子他
2. 音楽博士号取得 2007年3月26日 東京芸術大学 学位論文：「G. Verdi  
《Luisa Miller》における調性の配置と音楽的表現の関係」
3. プッチーニ：《トスカ》ハイライト 2007年4月28日 赤坂 共演：志田

雄啓、泉博子他

4. イル・グルッポ・ムジカーレ コンサート 2007年5月12日 川西みづかなホール 曲目：プッチーニ《トスカ》ハイライト 共演：志田雄啓、泉博子
5. 玄箏会定期演奏会 2007年6月17日 イイノホール 曲目：さくら、箱根八里、秋の月他
6. 博士号取得記念 泉貴子ソプラノリサイタル 2007年8月5日 ザ・フェニックスホール 曲目：リスト「ペトラルカのソネット」、ヴェルディ《ルイーザ・ミラー》から他 共演：泉博子
7. プッチーニ《トスカ》ハイライト 2007年8月19日 和歌山ビッグ愛ホール 共演：小林大作、清水良一、西島麻子他
8. プッチーニ《トスカ》ハイライト 2007年8月20日 千里 A&H ホール 共演：小林大作、清水良一、西島麻子他
9. 教員によるコンサート 2007年11月1日 本町講堂 曲目：トステイ「暁は光りから」、レオンカヴァッロ「あなたの視線の中に」

\* 主な研究課題：G. Verdi のオペラ作品の考察、オペラ作品における調性構築の考察

稲垣 聡

1. 稲垣 聡 ピアノ・リサイタル 2007年4月14日 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 小ホール、4月19日 ザ・フェニックスホール、4月23日 東京オペラシティ・リサイタルホール、モーツァルト：ピアノソナタ ニ長調 Kv. 576、ショパン：ピアノソナタ 第3番 ロ短調 op. 58、ドビュッシー：前奏曲集 第I集より アナカプリの丘、沈める寺院、第II集よりピアノの門、花火、メシアン：幼子イエスにそそぐ 20のまなざしより X V. 幼子イエスの口づけ、X X. 愛の教会のまなざし
2. 教員による相愛コンサート 2007年6月5日 相愛大学南港ホール 大前 哲：〈メモリーズ・ワンス・モア：ダブル・トーク No. 29〉2台のピアノのための op. 127、共演：山本英二（ピアノ）
3. アンサンブル・ノマド メキシコ公演 2007年6月13日、16日 ミチョアカン国際現代音楽祭
4. ウィーン音楽の旅立ち 中欧からスラヴへ〈第六夜〉“スラヴ音楽の円熟と N. ルビンシテインへの追憶” 2007年8月9日 京都文化博物館 チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲、ピアノ三重奏曲「偉大な芸術家の

思い出」 op. 50、共演：田辺良子（ヴァイオリン）、日野俊介（チェロ）

5. 第 17 回芥川作曲賞選考演奏会 2007 年 9 月 2 日 サントリーホール 大ホール 山根明季子：水玉コレクション～ピアノとオーケストラのための～（2006） 共演：小松一彦（指揮）、新日本フィルハーモニー交響楽団
6. サントリー・サマーフェスティバル 2007～ジャン＝クロード・リセ室内楽演奏会～ 2007 年 9 月 8 日 サントリーホール 小ホール 演奏：アンサンブル・ノマド
7. 教員による相愛コンサート 2007 年 11 月 28 日 相愛大学南港ホール パルトーク：2 台のピアノと打楽器のためのソナタ 共演：児嶋一江（ピアノ）、中谷 満（打楽器）、宮本妥子（打楽器）

\* 主な研究課題：バロックから現代に至るピアノ曲の演奏と楽曲研究

小 栗 まち絵

1. 小栗まち絵ヴァイオリン・リサイタル 2007 年 3 月 31 日 神戸新聞松方ホール J. S. バッハ：ヴァイオリン・ソナタ BWV 1021、無伴奏バルタエータ 第 3 番 BWV 1006 イザイ：「子供の夢」、無伴奏ソナタ 第 2 番、貴志康一：「竹取物語」「花見」、グリーグ：ヴァイオリン・ソナタ 第 2 番
2. 四日市交響楽団第 29 回定期演奏会 2007 年 5 月 13 日 四日市文化会館第 2 ホール  
サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲 第 3 番 口短調
3. ヴィオラスペース 2007 2007 年 5 月 16 日 ザ・フェニックスホール モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 ト長調 K. 423  
共演：今井信子
4. 教員による相愛コンサート 2007 年 6 月 5 日 相愛大学南港ホール 大前 哲：〈時の肖像：ダブルトーク No. 32〉2 つのヴァイオリンのための作品 141（初演） 共演：田辺良子
5. いずみシンフォニエッタ大阪 第 16 回定期演奏会 2007 年 7 月 13 日 いずみホール グリーグ：ホルベルグ組曲、リンドベルイ：アリーナⅡ、シベリウス：組曲「ペレアスとメリザンド」他
6. ベートーヴェン交響曲全曲演奏会 Vol. 5 2007 年 12 月 15 日 いずみホール 西村 朗：ベートーヴェンの 8 つの交響曲による小交響曲（初演）、ベートーヴェン：交響曲 第 9 番 飯森範規指揮 いずみシンフォニエッタ大阪

\*受賞：平成 19 年度大阪芸術賞特別賞

岸 邊 百百雄

1. 「モーツァルトに会いたい 2」2007年6月10日 京都芸術センター W. A. モーツァルト：ピアノ トリオ ハ短調 K. 548、ピアノ トリオ ホ長調 K. 542、ピアノ トリオ ニ短調 K. 442、ピアノ トリオ 変ロ長調 K. 502 共演者：河野美砂子 (Pf)、河野文昭 (Vc)
  2. 第4回 あさご国際音楽祭 2007年8月5日～11日 あさご ささゆりホール他 W. A. モーツァルト：ピアノカルテット 変ホ長調 K. 493 他
- \*主な研究課題：バロックから現代に至るヴァイオリンのための作品及びヴァイオリンを含む室内楽作品の研究及び演奏法の研究。

児 嶋 一 江

1. シューベルト “冬の旅” 2007年3月16日 滋賀県立文化産業交流会館 共演：勝部 太 (Br.)
  2. 小栗まち絵 ヴァイオリン・リサイタル 2007年3月31日 神戸・松方ホール 共演：小栗まち絵 (Vl.)
  3. 草津夏期国際音楽フェスティバル “ベートーヴェンとブラームス” 2007年8月22日 草津音楽の森国際コンサートホール 共演：A. アドリアン (Fl.)・M. トルコヴィッチ (Fg.)
  4. 榎本大進 ヴァイオリン・リサイタル 2007年10月11日 横須賀芸術劇場 共演：榎本大進 (Vl.)
  5. 教員による相愛コンサート Bartok：2台のピアノと打楽器のためのソナタ 2007年11月28日 相愛大学南港ホール 共演：稲垣 聡 (Pf.)・中谷 満 (Per.)・宮本妥子 (Per.)
- \*主な研究課題：ピアノを含む室内楽作品の演奏と研究

斎 藤 達 男

1. モーツァルト室内管弦楽団 第120回定期演奏会 2007年5月3日 いずみホール R. シューマン：チェロ協奏曲 イ短調 作品129
2. 音楽の翼 vol. 9 2007年7月10日 ザ・フェニックスホール A. ソルビアーティ：オンブラ（無伴奏チェロのための）諸橋 玲子：玄 “Kuro”（無伴奏チェロのための）
3. 「水曜日サイタルシリーズ」2007年11月7日 ムラマツリサイタルホール

J. ブラームス：チェロ・ソナタ ニ長調 作品 78 「雨の歌」（原曲 ヴァイオリン・ソナタ第 1 番）

- \* 主な研究課題：チェロ・ソナタの演奏法、作品研究。R. シュトラウス、シューベルト、ドビュッシーの作品（9 月初旬予定のドイツ演奏旅行のため）

### 三 谷 美智子

1. 声楽発声における呼吸法とその指導法について—医学的考察を取り入れながら— 『相愛研究論集』第 23 巻 2007 年 3 月 15 日）
2. 学会発表「歌唱の呼吸法」2007 年 10 月 21 日 日本声楽発声学会関西支部 実習指導 医師 野町 健講師と共に
  - \* 主な活動：日本声楽発声学会関西支部理事（平成元年～） 日本音楽教育振興協会理事事務局長（平成 14 年～） NHK 全国学校音楽コンクール近畿ブロック審査員 大阪市教育公社学習センター ヴォイストレーナー ヴォイストレーナー指導者養成講師 日本声楽発声学会関西支部 関西二期会会員

## 【人文学部】

### 相 谷 登

1. 「アメリカの国による養育費徴収制度をめぐって—父親の立場から—」家庭問題情報誌「ふぁみりお」（社）家庭問題情報センター第 42 号 6-9 2007 年 10 月
  2. 中華民国台北地方裁判所 民事部鑑定人（離婚及び子どもの養育者決定）2007 年 12 月～（現在進行中）
- \* 主な活動：a. 家族心理士・家族相談士資格認定機構審査員
  - b. 大阪府虐待防止アドバイザー養成事業企画委員

### 新 井 俊 一

1. *Grasped by the Buddha's Vow: A Translation of and Commentary on Tannishō*. 出版社：Buddhist Churches of America, Center for Buddhist Education（浄土真宗センター）, Berkeley, California, U. S. A. 2007 年
2. “A Pure Land Buddhist View of Life and Bio-Ethics.” 掲載雑誌：*Religion and Ethics, Separate Volume 6*（Report on IAHR 2005 Tokyo：Panel 02

J) 出版社：Japan Association of Religion and Ethics (宗教倫理学会)  
2007

3. 講演・学会等

2007年2月13日 2006年度第2回勸学寮例会講演：「仏教と平和－インド思想におけるアヒンサーの系譜－」

2007年3月24日 浄土真宗センター（カリフォルニア州バークレイ）で特別講演（英語）：Karma and Dharma

2007年3月31日 シアトル別院で講演（英語）：「『歎異抄』について」

2007年4月14日 相愛大学市民仏教講座で講演：「仏教と平和」

2007年7月19日 本願寺安居特別講義：「アヒンサーによる平和の構築」

2007年8月27日、28日 2007年度真宗学研究学会を当番校として主催

2007年11月9、10、11日 日本平和学会秋期大会（韓国・済州島）に参加

2007年12月6日 相愛大学成道会で法話：「釈尊成道の意味」

2007年12月7日 浄土真宗本願寺派西山別院で外国人教師教習に講演（英語）：「現代の問題と浄土真宗」

2007年12月8日 相愛大学市民仏教講座で講演：「世をいとふしるし」

2007年12月9日 浄土真宗本願寺派西山別院で外国人教師教習に講演（英語）：「法座について」

\* 社会的活動：大阪外国語大学後援会会長（2007年9月30日まで）

浄土真宗本願寺派教学伝道研究センター委託研究員

石川 玲子

1. 相愛大学公開講座「ヴァージニア・ウルフが描いた生のかたち」於相愛大学  
2007年10月6日

\* 主な研究課題：ヴァージニア・ウルフ、キャサリン・マンズフィールドの作品研究

江草 浩幸

1. 「触覚に及ぼす体位の影響：あなたの頬に触っているのは手それとも足？」  
日本基礎心理学会第26回大会（ポスター発表） 2007年12月

\* 現在の研究課題：a. 刺激－反応適合性効果

b. 色彩の心理的效果

c. 変換された視野への適応過程

d. 触覚・体性感覚における空間定位錯誤

嘉 戸 一 将

1. 『西田幾多郎と国家への問い』以文社 2007年
2. 「〈世界〉そのものの底－西田幾多郎と主権論－」『神奈川大学評論』第57号 2007年7月
3. 「「忠君」と「愛国」－明治憲法体制における「明治の精神」－」、明治の精神研究会 2007年2月27日 於相愛大学
4. 「アーカイヴズの理念／脱理念－Jacques Derrida, *Mal d'Archive* を手がかりに－」、科研費研究会「大学所蔵の歴史的公文書の評価・選別についての基礎的研究」（平成17年度～平成19年度科学研究費補助金（基盤研究（B））、2007年9月7日 於小樽商科大学
5. 相愛大学公開講座「近代日本の息吹としての明治憲法」2007年11月10日 於相愛大学
6. 相愛学園創立120周年記念公開講座「明治憲法体制と『国民道徳』論Ⅰ・Ⅱ」2007年12月1日・8日 北御堂津村ホール

- \* 主な研究課題：a. 明治憲法体制における正統性の問題  
b. 1900年代から1940年代の法学と哲学における法論・道徳論の諸相  
c. 明治憲法体制における国家社会主義の問題  
d. アーカイヴズ論

\* 主な活動：平成19年度科学研究費補助金（基盤研究（B））共同研究「大学所蔵の歴史的公文書の評価・選別についての基礎的研究」、研究分担者

北 崎 契 縁

\* 主な研究課題：D. H. ロレンス研究会（京都）の一員として、2005年3月から出版を始めた『D. H. ロレンス書簡集』の第V巻（1914年）の編集責任者をこの一年は勤め、鋭意その作業に取り組んできた。全部で160通あまりの書簡の翻訳を会員共同で行い、「解題」部分の執筆を担当した。漸く完成に近づき、今春3月中には出版される予定である。



北野裕通

1. 『『善の研究』第二編「実在」を読む』西田哲学会第5回年次大会・プレカ  
ンファレンス部門 2007年7月21日 獨協大学
  2. 「教育における人格の問題」長野教育会夏季大学 2007年7月19日 長野  
県立芋井小学校
  3. 「西田の触れた実在の真相（続）」第27回夏期哲学講座 2007年8月26日  
石川県西田幾多郎記念哲学館
  4. 「生死の根源 あるいは生死という事」同上 2007年8月27日 石川県西  
田幾多郎記念哲学館
  5. 「西田哲学に於ける実在の根本性格について」日本宗教学会 第66回学術  
大会 2007年9月17日 立正大学
  6. 「片岡仁志における禅と教育」花園大学禅学研究会 第78回学術大会 2007  
年11月24日 花園大学
- \*主な研究課題：禅と京都哲学、禅と日本文化

木下（森光）有子

1. 「主観的把握と客観的把握—なぜ日本語には擬声語・擬態語が多いのか—」  
『相愛大学研究論集』第23巻 2007年3月
- \*主な研究課題：a. 認知と言語の関係  
b. 英語と日本語の比較研究  
c. 日本における言語教育

呉谷充利

1. 『ル・コルビュジエ事典 ジャック・リュカン監修』（共訳）加藤邦男監訳  
中央公論美術出版 p. 646 2007年2月
  2. 『近代、あるいは建築のゆくえ—京都・神宮道と大阪・中之島をあるく—』  
創元社 p. 281 2007年4月
  3. 「知あるいは尺度—その1—」相愛大学研究論集 第23巻 pp. 181-184  
2007年3月
  4. 「住友吉左衛門友純と大阪府立図書館」相愛大学人文科学研究研究所研究年報創  
刊号 pp. 13-33 2007年3月
  5. 講演「エキゾチシズムの時代—奈良高畑の遺産—」於：中村家主屋（旧足  
立源一郎邸、奈良市）2007年11月24日
- \*学外活動：「白樺サロンの会」（奈良高畑）発足 同会代表 2007年8月

桑 原 義 登

1. 財団法人和歌山県人権啓発センターだより”えるふ”コラム人権を考える「いじめ問題について」 pp. 1-2 和歌山県人権啓発センター 2007年1月
  2. 講演「最近の社会情勢から考える子どもの問題—子どもをどう理解しどう関わるか—」 2007年11月17日 相愛大学公開講座
  3. 発表「資格問題と臨床心理士の役割」 2007年4月 和歌山県臨床心理士会
- \*主な研究課題：a. 最近の子どもの問題行動とその背景  
b. 児童虐待による子どもへの影響と支援方法  
c. 自閉症等の発達障害児者への支援
- \*主な学外活動：a. 和歌山県こころのレスキュー隊での緊急支援  
b. 和歌山県発達障害者相談支援センターでの相談支援  
c. 母子生活支援施設等での臨床心理学的支援  
d. 和歌山子どもの虐待防止協会による講演啓発活動  
e. 和歌山いのちの電話協会・紀の国被害者支援センターでの相談員への支援活動等

紅 椋 英 顕

1. 「信一念と信の覚不について」『印度学仏教学研究』55-2 2007年3月
  2. 『Understanding Jodo Shinshu』(『浄土真宗がわかる本』の英訳版) Dharma Lion Publication, Craiova, Romania. 2007年8月
  3. 『The True and Real World of Salvation』(『真実の救いの世界』の英訳版) Dharma Lion Publication, Craiova, Romania. 2007年10月
- \*研究課題：浄土真宗の教義安心の研究
- \*活動報告：a. 浄土真宗教義研究会「浄土真宗を学ぶ会」、同「無倦会」講師  
b. 浄土真宗伝道活動（ホームページによる外国伝道、寺院における布教）  
c. 日本仏教学会理事、龍谷大学真宗学会評議員、龍谷教学会議地区委員

佐々木 豊

1. General Preface to Edward C. Carter's Statement edited by William L. Holland. 『渋沢研究』第19号 2-4頁 2007年1月

\*研究課題・活動報告：

- ・シンクタンクの機能をもつ国際主義的民間団体（太平洋問題調査会・外交問題評議会）の政策提言活動について
- ・関西日米交流フォーラム

佐野正彦

1. 『現代イギリスにおける若年労働市場と「学校から雇用への移行」に関する実証的研究（平成16年度～平成18年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C）研究成果報告書』全102頁、2007年3月
2. 佐野正彦・乾彰夫・平塚真樹、Precarious Youth and Its Social/Political Discourse: Freeters, NEETs and Unemployed Youth in Japan（英文）（首都大学東京人文学部『人文学報』No. 381）73-100頁、2007年3月

\*研究課題：研究テーマ「若者の『学校から雇用への移行』に関する国際比較研究」

- a. 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（A）（一般）、H19-22年度、「大都市における若年者の教育・職業移行過程とキャリア形成に関するコーホート調査」研究分担者（代表：乾彰夫）、4千200万円
- b. 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（B）（一般）、H19-21年度、「沖縄における若年者の移行過程に関するコーホート調査」（代表：上間陽子）、1千400万円

杉本節子

1. 「学校図書館メディアの組織化」『学校図書館概論』志保田務 [ほか] 編 第一法規出版社 2007年9月
2. 司書養成科目の構成構造とその関係性の考察－司書課程の経営の視座から－』『大阪市立大学学術情報総合センター紀要－情報学研究－』北克一氏と共著 p. 25-33, 2007年8月
3. 「司書養成科目の構成構造とその関係性の考察－司書課程の経営の視座から－」『情報学；Journal of Informatics』北克一氏と共著（1）<http://ojs.info.gsc.osaka-cu.ac.jp/JI/>（電子ジャーナル）2007年4月
4. 学会発表「患者図書室／患者情報室の課題と将来」日本図書館研究会第48回研究大会、於佛教大学『常照ホール』（京都）杉本節子・北克一
5. 学会発表「がん対策基本法制定後の医療情報：患者と看護師の情報ニーズ」日本図書館情報学会春季研究集会、於大阪市立大学（大阪）大前富美・北克

一・杉本節子 2007年3月31日

6. 講演「日本における患者図書室の実態」主催：厚生労働省科学研究費補助金  
医療技術評価総合研究事業第二回市民への健康情報提供サービスのための  
フォーラム 於国立保健医療科学院（和光市） 2007年2月16日
  7. 公開シンポジウム「これからの医療情報を考える！Part 2－患者・市民の声  
を生かした図書館の医療・健康情報提供－」主催：大阪市立大学造都市研究  
科 於大阪市立大学医学部医学研修センター・研修室（あべのメディックス  
ビル7階）（大阪）公開シンポジウムプロジェクト代表 2007年3月3日
- \*主な研究課題：情報メディア組織化研究、学校図書館、医療情報学  
\*社会活動：大阪市立図書館業務委託事業者選定委員会委員 2007年11月  
26日～2008年3月31日

鈴木 徳 男

1. 『平安私家集 十一』冷泉家時雨亭叢書第六十三巻 共著 朝日新聞社  
2007年2月
  2. 「源師房「初冬扈從行幸、遊覧大井河。応製和歌」序注（下）」相愛大学研究  
論集第23巻 共著 2007年3月
  3. 相愛学園創立120周年記念公開講座「藤原定家と百人一首」北御堂津村ホ  
ール 2007年7月7日・14日
- \*主な研究課題：平安後期の歌集・歌学書の研究  
\*主な活動：a. 和歌文学会委員（編集委員）  
b. 佛教文学会委員  
c. 俊頼髓脳研究会事務局

砂 川 博

1. 「『一遍聖絵』巻三の詞と絵（上・下）」『時衆文化』第15号 39～72p 2007  
年4月、『時衆文化』第16号 27～62p 2007年10月
  2. 相愛学園創立120周年記念公開講座「平家物語の成立」北御堂津村ホール  
2007年7月21日
  3. 同上「伴大納言絵巻を読む」2007年7月28日
  4. 2007年度真宗学研究会「妙好人因幡の源左の人と思想」8月28日 於相  
愛大学
- \*主な研究課題：a. 『一遍聖絵』一遍・真教・時衆教団史の研究  
b. 平家物語を中心とする語り物文芸の研究

\*主な活動：『時衆文化』編集代表。時衆文化研究会代表

孫 久 富

1. 「比較文学的アプローチ「記紀歌謡から初期万葉歌への変遷に見る外来思想」(上代文学会研究叢書『初期万葉論』所収) 笠間書院 243～274 頁  
2007年4月
2. 「都と文学—長安と奈良を中心に—」相愛大学人文科学研究所『研究年報』  
創刊号 2007年3月
3. 相愛学園創立120周年記念公開講座「古代恋愛文化の比較論—日本と中国—I・II」2007年6月2日・23日 北御堂津村ホール

高 木 学

- \*主な研究課題：a. 地域活性化活動の実証的研究  
b. 脱都会現象の社会学的考察  
c. 男性の育児参加に関する社会的相互作用

千 葉 真 也

1. 平成19年度第24回鈴屋学会研究発表会『万葉集問目』について再び—尾上本『万葉集問目』を論じて松坂の一夜におよぶ』本居宣長記念館 2007年4月22日
2. 相愛学園創立120周年記念公開講座「賀茂真淵と本居宣長I・II」北御堂津村ホール 2007年9月22日・29日

\*主な研究課題：本居宣長を中心とする国学の研究

\*学会活動：鈴屋学会常任委員、鈴屋学会報編集委員長

David Blake Willis

Book

*Transcultural Japan: Being Others in the Borderlands of Race, Class, and Identity*, Edited book by David Blake Willis and Stephen Murphy-Shigematsu (Routledge, London, 2007)

Chapters

1. "Dalit Entrepreneurs on the Edges of Caste and Class: Ethnic Minority Entrepreneurship in India", With J. Rajasekaran, in *Handbook of Research on Ethnic Minority Entrepreneurs*, L. Dana, ed. Cheltenham, UK

and Vermont, USA: Edward Elgar, 2007, pp. 599–614.

2. “Korean Minority Entrepreneurs in Japan: ‘I Want Us to Be No. 1 in Every Area’”, With S. Lee in *Handbook of Research on Ethnic Minority Entrepreneurs*, L. Dana, ed. Cheltenham, UK and Vermont, USA: Edward Elgar, 2007, pp. 653–668.
3. “Transcultural Japan”, with Stephen Murphy-Shigematsu, in F. Coulmas, H. Conrad, A. Schad–Seifert, G. Vogt (eds.) *The Demographic Challenge: A Handbook about Japan* (Leiden: Brill Academic Publishers, 2007).

#### Annual Research Report

“Dalits: The Changing Contexts of Caste, Culture, and Class in South India”, in the series, *Race and Caste in India and America: Case Studies of Power, Community, and Psyche*, Soai Daigaku Kenkyu Ronshu, Vol. 23, March 2007

#### Conferences – Papers and Symposia

CIES, Baltimore, USA; JAWS 2008, Oslo, Norway; WCES 2008, Sarajevo, Bosnia; AJJ 2008, Tokyo, Japan; University of Oxford (Anthropology), Oxford, U.K.; Freiburg University, Freiburg, Germany. (Sociology)

#### Teresa Bruner Cox

##### Publications

Training video/DVD : 日本とアメリカ・カナダの大学教育の相違と留学成功法

Interac Ac/Asia Pacific Productions : Kobe/Portland, March 2007. 67 minutes.

##### Presentations :

“Preparing Japanese Students for Study Abroad in North America.”  
SIETAR Kansai (Society for Intercultural Communication, Training, and Research, Kansai Chapter), Takatsuki, Japan ; October 7, 2007.

##### Research Themes :

- a. Intercultural Communication :
  - Using film to teach intercultural communication
  - Changing values in Japan (classroom research)

- b. Preparing Japanese for study abroad. I am currently preparing a “study guide” to accompany the 日本とアメリカ・カナダの大学教育の相違と留学成功法 DVD/video and preparing for workshops in the spring of 2008.
- c. Race and ethnicity in American mystery writing ; Los Angeles and detective fiction

戸 口 愛 泰

1. Toguchi, Y., & Takagi, O. (2007. 1) Construction of Japanese Bond Scale, The 8th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology, pp. 273.
  2. 高木修・戸口愛泰 (2007. 3) 社会的絆の光と影－人間関係における「絆」とその役割とは－、関西大学経済・政治研究所「セミナー年報2006」・公開講座「第173回（平成18年12月20日）」 pp. 209-223.
  3. 戸口愛泰・高木修 (2007. 6) 「絆」の光と影：(5) 父親との絆の検討、日本グループ・ダイナミックス学会第54回大会発表論文集、pp. 138-139.
  4. 戸口愛泰・高木修 (2007. 9) 「親子間の「絆」における心理的効用についての検討」 社会心理学会第48回大会発表論文集、pp. 210-211.
- \* 主な研究課題：母子間・父子間の絆に関する社会心理学的研究

鳥 井 正 晴

1. 「句あるべくも7」 「門」第13号 鎌倉漱石の會 2007年3月6日
  2. 鳥井正晴監修・近代部会編「『明暗』論集 清子のいる風景」和泉書院 2007年8月31日
- \* 主な研究課題：漱石文学全般 日本近代文学全般

西 迫 成一郎

1. 「被害性、関与性、原因特定性、対処可能性という視点からの社会的不正事態の分析－社会的公正判断過程に関する研究(3)－」(共著)『関西大学総合情報学部紀要 情報研究』第26号 37-54 2007年1月
  2. 学会発表「社会的規範および社会的望ましさと社会的不正感－社会的公正感の喚起過程およびその影響過程(5)－」(共同発表) 日本心理学会第71回大会発表論文集 168 2007年9月
- \* 主な研究課題：心理的ストレス 社会的公正感

橋 元 淳一郎

1. 『電磁気学演習帳』講談社 2007年8月
  2. 『物理問題集 1, 2』学習研究社 2007年9月
- \* 主な研究課題：a. 時間論 b. 科学論 c. 物理教育

藤 谷 忠 昭

1. 「行政主導のまちづくりの功罪—大阪市住之江区を事例に—」『相愛大学研究論集』23 pp.75-96. 2007年3月
  2. 報告書「福井県今立郡池田町—環境先進農村として生き残りをかける—」『「離島および山村地域の政策課題に関する実証的研究」研究成果報告書・第一輯』pp.144-55、地方自治研究会
  3. 報告書『オンブズマン活動と「第三者評価」の違いを探る—介護サービスの質の向上のために—』（研究会代表）特定非営利活動法人オンブズマン機構 大阪
  4. 講演「超高齢社会の息吹—施設の社会的接点—」相愛大学人文科学研究所公開講座 2007年10月13日
  5. 報告「高齢者施設においてコミュニケーションについて考える」「日本社会学史学会」関西例会 2007年10月20日
- \* 主な活動：介護保険市民オンブズマン
- \* 主な研究課題：a. 「変動期社会における離島および山村地域の政策課題に関する実証的研究」（平成18年度～平成20年度科学研究費補助金・基盤研究B）
- b. 大阪府内の特別養護老人ホーム施設長を対象とした介護保険制度見直し前後のサービスの変化についてのアンケート調査

本 多 至 成

1. 共同研究・スタンフォード大学老人学研究所スタッフとの研修及び研究会  
2007年5月16日 特別養護老人ホーム・ビハラー「木の実園」  
2007年5月16日 養護老人ホーム・勝安寺「とりかい白鷺園」  
2007年5月17日 特別養護老人ホーム・如来寺「むつみ庵」
2. 特別講義主催  
「アメリカにおける高齢者の問題—スタンフォード大学のPACEプログラムについて—」スタンフォード大学老人学研究所准教授 マルタ・グルーゼン



先生 2007年5月15日 相愛大学 S 307

「アメリカにおける高齢者と宗教」スタンフォード大学老人学研究所教授ロナルド・ナカソネ先生 2007年5月17日 相愛大学 S 307

3. 『清風宝樹』（武邑尚邦先生の遺徳を顕彰する会編纂）トヨタ印刷 2007年4月
4. 相愛大学宗教部主催 市民仏教講座「仏教と心理」2007年11月10日
  - \* 社会活動：老人施設慰問 2007年12月12日「クリスマス会」於南港咲洲特別養護老人ホーム。「クリーンアップ大阪」に参加し、除草ゴミ収集などを行なう。アジア協会のボランティア支援活動に参加。スカウト活動を通しての各種奉仕作業を行なう。  
劇団音芽（乙女を音芽と改称）創作劇「愛歌」の監修を行う。

益 田 圭

1. 『人権年鑑 2007』 part 2 「2005年の動向」2部落問題 第2章「意識調査」執筆 解放出版社 2007年3月
2. 書評「佐藤裕著『差別論－偏見理論批判』、『部落解放研究』第179号 88-90 2007年12月
3. 部落解放・人権研究報告書 No. 8『人権教育・啓発プログラムの開発に向けて－人権教育・啓発プログラム開発研究会報告書』第2章「企業向け人権啓発のあり方①－業務との関わりから」執筆 部落解放・人権研究所 2007年3月
  - \* 主な研究課題：a. 被差別部落に関わる現代的意識の社会心理学的研究  
b. 人権問題の現状と課題
  - \* 主な活動：a. 「人権啓発の現状把握と効果検証に向けた指標作成研究事業」（大阪市委託事業）  
b. 「人権意識の現状と変化の実態をふまえた人権教育推進のための重要課題の調査事業」文部科学省「平成19年度人権教育推進のための調査研究事業」モデル事業

山 下 昇

1. 翻訳 ヤング・オーク・リー「韓国系アメリカ文学とアメリカ主流文学－『ネイティブ・スピーカー』と『アブサロム、アブサロム！』」『フォークナー』第9号 松柏社 2007年4月
2. シンポジウム司会「共振する／交錯するメディアとアメリカ文学」日本アメ

リカ文学会全国大会 2007年10月14日

3. 共編著 日本ウィリアム・フォークナー協会編『フォークナー事典』(24項目余執筆、編集、索引作成) 松柏社 2007年12月  
\*主な研究課題: アメリカ・マイノリティ文学  
\*主な学会活動: 日本ウィリアム・フォークナー協会副会長、評議員 日本アメリカ文学会編集委員、日本アメリカ文学会関西支部評議員

山本和明

1. 平凡社東洋文庫 759・760『増補私の見た明治文壇1・2』野崎左文著、青木稔弥・佐々木亨の共編(第2巻本文校訂及び索引作成) pp. 305・pp. 376, 2007年2月3月
2. 「お仲狂乱ー魯文『恋相場花夜嵐』考ー」『国文学研究資料館紀要 文学研究篇』33号 pp. 79-104 2007年2月
3. 「正本写『松榮千代田神徳』の一資料」『相愛大学研究論集』23巻 pp. 67-86 2007年3月
4. 「魯文作『歌舞菩薩露親玉』についてー八代目団十郎追善本の周辺ー」『忍頂寺文庫・小野文庫の研究2』(2006年度大阪大学大学院文学研究科共同研究(国文学研究資料館研究連携事業)研究成果報告書) pp. 9-16 2007年3月
5. 「〈継承〉をはばむもの」『日本文学』vol 56-8 pp. 64-66 2007年8月
6. 叢書「リプリント日本近代文学」第Ⅲ期『大岡政美録』『開化一口ばなし』『墨田川梅柳新書』『復讐殿下茶店聚』各単著解題執筆 国文学研究資料館発行 平凡社発売 2007年3月
7. (発表)「魯文作『歌舞菩薩露親玉』に関する一考察」仮名垣魯文研究会第六回研究大会 2007年1月6日 於国文学研究資料館
8. (発表)「『月の輪』刊行に関する一事情」仮名垣魯文研究会第七回研究大会 2007年7月15日 於国文学研究資料館
9. (社会貢献)平成19年度大阪市いちょう大学(大阪市立総合生涯学習センター主催)「大阪の文学」講師として「井原西鶴と大阪」(6/18)・「近松門左衛門と大阪」(6/25)・「上田秋成と大阪」(7/2)の講演 於大阪市立城北市民学習センター  
\*主な活動: a. 科学研究費基盤研究B1「原典資料の調査を基盤とした仮名垣魯文の著述活動に関する総合的研究」(研究代表者谷川恵一)研究分担者

- b. 大学共同利用機関法人国文学研究資料館共同研究員（テーマ「開化期戯作の社会史的研究」および基幹研究「十九世紀の出版と流通」）
- c. 日本文学協会委員（2006・07年度）
- d. 日本近世文学会「近世文藝」編集委員（2007年6月～）

山本幸男

1. 『『華嚴経』講説を支えた学僧たち－正倉院文書からみた天平十六年の様相－』『南都佛教』87 2006年12月（2007年5月刊行）
2. 「玄昉将来経典と「五月一日経」の書写（下）」『相愛大学研究論集』23 2007年3月
3. 「書評：宮崎健司『日本古代の写経と社会』」『日本史研究』538 2007年6月
4. 「市大日本史研究会10年の節目に寄せて」『市大日本史』10 2007年5月
5. 相愛学園創立120周年記念公開講座「正倉院文書の世界Ⅰ・Ⅱ」2007年5月12日・19日 北御堂津村ホール

- \*主な研究課題：a. 写経所文書の復原的研究
- b. 奈良朝仏教教学史の研究。「慈訓と内裏－「花嚴講師」の役割をめぐる」を執筆。『佛教大学史学研究』50-2に掲載予定
  - c. 古代難波地域の実態的研究

## 【人間発達学部】

岩口 摂子

1. 「幼児における音楽と感情との関連－音楽を聴いた際に喚起する感情を測るための絵の選定について－」『宮城学院女子大学発達科学研究第7号』pp. 1-12、宮城学院女子大学附属発達科学研究所（単著）2007年3月
2. 「幼児の歌の記憶」『宮城教育大学紀要第41巻』pp. 65-71（共著）2007年3月
3. 学会発表「Cognitive Representation of Music by Children Ages Four and Five」The 6th Asia-Pacific Symposium on Music Education Research ISME Asia-Pacific Regional Conference-2007（共同）2007年7月

- \*主な研究課題：a. 幼児の音楽的発達に関する基礎研究

b. 保育者養成における音楽教育の基礎研究

岩 堂 美智子

1. 「男性保育者を増やす上での課題は」「ジェンダーにとらわれない保育とは」堀正嗣編『認定こども園と人権保育』明石書店 47-48 109-110 2007年
  2. 「高齢期の自立生活を考えるエンカウンター・グループ実践の分析」大阪市立大学生生活学部児童・家族相談所編『児童・家族相談所紀要』 1-12 2007年
  3. 「育兒期女性に試みたエンカウンター・グループの意義と課題～初心者ファシリテーターによる〈マザーグループ〉実践の分析～」大阪市立大学生生活学部児童・家族相談所編『児童・家族相談所紀要』第23号 2007年 13-25
  4. 「なぜ今〈親学習〉なのか～現代子育て事情とその背景～」社団法人大阪少年補導協会『月刊少年育成』第52巻12号 8-13 2007年
  5. 監修『ともに育つ子どもとおとなの応援誌 いろいろ』Vol. 26、27、28、29 大阪市立子育ていろいろ相談センター発行 2007年 各誌10頁
  6. 「子育て支援事業としての〈遊びの広場〉〈絵本展いろいろ〉の取組みについて」日本保育学会第60回大会発表論文集 206-207 2007年5月
  7. 「都市ひとり暮らし高齢者の生涯発達援助システムを考える～当事者と大学院生が参加するエンカウンター・グループの試みから～」日本コミュニティ心理学会第10回大会発表論文集 118-119 2007年7月
  8. 基調講演 社団法人岸和田青年会議所・岸和田市教育委員会生涯学習部共催：シンポジウム「親の子育て支援」 2007年3月31日
  9. 大阪市幼児教育センター主催：幼児教育相談員養成講座「面接相談の基本と実際」 2007年10月22日
- \* 社会活動：大阪府教育委員会社会教育委員会議議長、大阪府障害者施策推進協議会委員・第3次大阪府障害者計画後期計画等検討委員会委員、大阪市立子育ていろいろ相談センター所長

太 田 美 穂

1. Kintetic Studies of 25-Hydroxy- Vitamin D<sub>3</sub> and 1 $\alpha$ ,25 -Dihydroxy-19-Nor-Vitamin D<sub>3</sub> Hydroxylation by CYP 27 B 1 and CYP 24 A 1 : Drug Metabolism and Disposition 35 (2007) 9 1482-1488 共著

2. Role of Gln 85 of human CYP 27 A 1 in 25-hydroxyvitamin D 3 - binding and protein folding : Biochem Biophys Res Commun : (2007) 355 211-216 共著
  3. Elevated cardiac tissue level of aldosterone and mineralocorticoid receptor in diastolic heart failure : Beneficial effects of mineralocorticoid receptor blocker. Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol. (2007) 292 (2) : R 946-54. 共著
  4. 「菌種をかえたテンペづくりとその特性」相愛大学研究論集 23 (2007) 97 -110 共著
  5. 「テンペの発酵時間による色および栄養成分の変化と調理性について」甲子園短期大学紀要 25 (2007) 57-62 共著
  6. 「テンペの発酵による色の変化」テンペ研究会誌 7 (2007) 41-42 共著
  7. 学会発表「哺乳類動物由来ミトコンドリア型シトクロム P 450 によるビタミン D 3 誘導体の代謝」第 80 回日本生化学会大会第 30 回日本分子生物学会年会合同大会 平成 19 年 12 月
  8. 学会発表「スチームコンベクションオープンを用いたテンペ作りの検討 (1) テンペ作りとその栄養成分」日本調理科学会平成 19 年度大会 平成 19 年 8 月
  9. 学会発表「スチームコンベクションオープンを用いたテンペ作りの検討 (2) テンペの調理性」日本調理科学会平成 19 年度大会 平成 19 年 8 月
  10. 講演 オムニセパロ適塾キックオフセミナー「食品の機能性と健康」尼崎リサーチ・インキュベーションセンター 2007 年 4 月
- \* 主な研究課題：ミネラルコルチコイドの代謝と病態、シトクロム P 450 によるビタミン D の代謝と新たな生理作用、無塩大豆発酵食品 Tempe の機能性評価、食育と健康
- \* 主な活動：日本生化学会評議員、日本栄養改善学会評議員、日本テンペ研究会常任役員、日本テンペ研究会平成 18 年度春季大会世話人 (大会長) 平成 18 年 7 月 相愛大学、日本調理科学会近畿支部委員

川 上 瑩 子

1. 「保育園児の食生活の実態調査 (第 3 報)」南海福祉研究所 平成 18 年度研究報告書 2007 年 11 月 17-27
2. 「料理講習会」障害施設ふきのとうおよびげんき作業所 南海福祉専門学校 2007 年 8 月

3. 同上 2007年12月

\*現在の研究課題：小児期食品の一考察5. アイスcream類、保育園児の食生活の実態調査、学生の食生活の実態調査

\*活動の状況：比嘉正子記念会館評議員、関西生活者連合会 料理講習会講師

川 中 美津子

1. 「ファッション美学」表現者としての「クリエイティブ・ディレクター」の役割」『ファッションビジネス学会論文誌』Vol. 12、P. 39～47、共著、2007年3月
  2. 「ファッション・メディアにおけるコンテンツ表現ーかわいい論を基盤にしてー」『ファッションビジネス学会論文誌』Vol. 12 P. 49～59、共著、2007年3月
  3. 「団塊世代がつくる…次世代高齢層のニューライフモデルの一考察〈第一報〉」『ファッションビジネス学会論文誌』Vol. 12、P. 61～71、共著、2007年3月
  4. 「感性中心主導 (Kansei Centered Dominant Logic) 論のデザイン経営教育への応用に関する一考察：ファッション MOT アプローチ」第9回日本感性工学会大会（於工学院大学、新宿キャンパス）、共同研究 2007年8月
  5. A Study on the Educational Method of Design Management about “Kansei Centered Dominant Logic” – An Approach to Fashion MOT (Management Of Technology) –、感性工学と感性研究の国際会議 2007 KEER 2007、(於がでる 27、札幌)、共同研究、2007年10月
  6. 「ファッション MOT (Management Of Technology) と「感性中心主導論理 ((Kansei Centered Dominant Logic) 論)」2007日韓学術交流会議 於梨花女子大学 韓国、共同研究、2007年10月
- \*主な研究課題：a. 生活文化度による消費者文化の分析  
b. ファッション消費者行動における快楽的要因の位置づけ

塩 見 邦 雄

1. 塩見邦雄（編）「対話で学ぶ臨床心理学」ナカニシヤ出版 2007年4月
2. 塩見邦雄（編）「対話で学ぶ心理学 第2版」ナカニシヤ出版 2007年9月
3. 塩見邦雄（編）「こころの授業ー集団カウンセリングとしての役割」 教案と

授業実践結果についての報告 第3巻 相愛大学塩見邦雄研究室 2007年  
5月

4. 日本学校心理士会 2007 年度大会 学会連合資格「学校心理士」認定運営機構理事長基調講演「日本型の学校心理士を考える～「こころの授業」などの実践から 2007年8月11日 大阪千里ライフサイエンスセンター
  5. 日本教育心理学会、日本発達心理学会、日本教育実践学会などでシンポジウムの講師や研発表をおこなう
- \* 学会活動：学会連合資格「学校心理士」認定機構理事長、日本応用教育心理学会理事長、日本教育実践学会会長、日本教育心理学会常任理事、兵庫県学校心理士会会長など
  - \* 授業実践：京都市立音羽川小学校にて「こころの授業」を一昨年、去年度に続いて本年度も継続しておこなっている

田 中 陽 子

1. 「ものづくり学習の視点」『AVANCE HDD 家庭科教育実践講座』2007年
- \* 研究課題：戦時体制下における衣生活と被服教育

多 門 隆 子

1. 「大阪府食育推進計画」の策定 2007年3月
2. 「大阪府における食育を通じた健康づくり推進対策」保健師ジャーナル 医学書院 2007年10月 共著
3. 「食育推進のために実施した質問用紙調査を通じた大阪の公衆栄養活動」日本公衆衛生雑誌第54号 第11号 日本公衆衛生学会 2007年11月 共著
4. 学会発表 日本公衆衛生学会 2007年10月

\* 主な学外活動

豊中市食育推進協議会委員 2007年6月～現在  
大阪府卸売市場審議会委員 2007年10月～現在  
大阪府食育フェスタ実行委員会委員 2007年5月～9月  
大阪府メタボリックシンドローム予防対策事業検討会委員 2007年7月～現在  
神奈川県流通関係者及び千葉県行政関係者等による食育推進意見交換会  
2007年12月  
独立行政法人 国立健康・栄養研究所職員との食育意見交換会 2007年12月

その他、大阪府行政栄養士に対する研修会講師等

中 西 利 恵

1. 平成 17 年度～平成 18 年度科学研究費補助金（基盤研究（C）(2)）研究成果報告書「『親育ち』への支援と子育て支援（特に相談・助言）力を高める保育者養成方法の開発」課題番号 17600527 2007 年 3 月 120 頁
2. 口頭発表「『子育て支援』実践力を高める保育者養成方法の研究－特に親と対話する力を高めるための教育方法の改善－」日本保育学会第 60 回大会発表論文集 2007 年 5 月 1054-1055
3. ポスター発表「保育所における絵本の貸出を媒体とした子育て支援活動－地域子育て支援センターを併設した保育所所在園児家庭を対象として－」日本保育学会第 60 回大会発表論文集 2007 年 5 月 1254-1255
4. 口頭発表「保育者養成教育と連携した『親育ち』を支援する方法に関する研究」全国保育士養成協議会第 46 回研究発表論文集 平成 19 年 9 月 192-193
5. 講演「子育てを取り巻く動向と保育士の役割」兵庫県保育協会宍粟支部主催 平成 19 年 5 月 12 日
6. 講演「子育て支援の今－子育ては社会でみんなですべきこと－」大阪市立男女共同参画センター東部館主催 大阪市男女共同参画セミナー事業 平成 19 年 6 月 8 日
7. 講演「子育て支援に求められる地域住民の支援活動とは？－子育て・親育てを通じて地域子育てを行うために－」広島県社会福祉協議会主催 第 54 回広島県社会福祉夏季大学 平成 19 年 7 月 5 日

中 村 富 予

1. 「大腸がんがとてよくわかる本」石川秀樹・中村富予・竹山育子・木村和子・佐伯智子 PHP 社 2007 年 3 月
2. 「管理栄養士コースで学ぶ！」奥田豊子・春木敏・曾根良昭・山口英昌編 同文書院 2007 年 5 月
3. 「栄養士育成と公衆栄養行政の変遷に見る管理栄養士・栄養士の役割」吉田睦子・天野信子・柘植美紀子・中村富予 神戸松蔭女子学院大学生活科学論叢 38 p39-56 2007 年 3 月
4. 学会発表 日本がん予防学会、日本公衆衛生学会、日本栄養改善学会、日本栄養改善学会近畿地方会で発表



5. 研究会発表 生活習慣病認知行動療法研究会、看護医療・介護を考える会、大阪府栄養士会研究発表会で発表
- \* 主な研究課題：a. 大腸腫瘍発生と食事との関連  
b. 在宅療養者の栄養管理 NPO 法人栄養ケアプランニング NEST 9 月設立理事
  - \* 活動報告：講演会「おいしく食べて元気になろう」大阪府老人クラブ連合会 主催「健康づくり大学校」 2007 年 11 月 20 日

西 野 雅千子

1. 「出来田三智子ソプラノコンサート」ピアノ伴奏（Kei-Gen-Ma-ma ホール）2007 年 8 月
2. 「クラリネットリサイタル」ピアノ伴奏（吹田メイシアターホール）2007 年 11 月

長谷川 精 一

1. 『森有礼における国民的主体の創出』、思文閣出版 2007 年 11 月  
\* 主な研究課題：「教育のメディア史」をテーマとする科研共同研究において、沖縄の「標準語」教育の歴史、及び、沖縄言語論争に関する考察

原 佳央理

1. (翻訳協力)『国際人権百科事典』明石書店、2007 年 3 月
2. 「児童福祉施設におけるファミリーソーシャルワーク実践に関する研究：乳児院への実態調査の結果から」『子ども虐待とネグレクト』第 9 巻第 1 号、pp. 25-36、共著、2007 年 4 月
3. 「児童養護施設におけるファミリーソーシャルワーク実践モデルに関する研究：M-D & D に基づく社会福祉実践モデル開発のたき台のデザイン」社会福祉学会 第 55 回全国大会（於大阪市立大学杉本キャンパス）、共同発表、2007 年 9 月
4. 「児童福祉施設におけるファミリーソーシャルワーク実践に関する研究：自立支援計画表の内容分析を通して」日本子ども虐待防止学会 第 13 回学術集いみえ大会（於三重県総合文化センター）、共同発表、2007 年 12 月  
\* 主な研究課題：a. 子どもの虐待ケースに携わる福祉専門職のトレーニング  
b. 社会福祉実践モデルの開発

水野 淨子

1. **Sturacutural alysis of sphingoglycolipid from asidiomycota BMB 2007 講演要旨集 P. 556、第 80 回日本生化学会**
  - \* 主な研究課題：a. 非定型抗酸菌および担子菌に存在する糖脂質の構造解析と生体内における免疫薬理学的活性、生理活性の解析
  - b. 日和見感染菌レジオネラの化学的分類について
- \* 主な学会活動：a. 日本栄養改善学会 評議員
- b. 日本栄養改善学会 近畿支部役員
- c. 日本調理科学会 近畿支部委員
- \* 主な学外活動：大阪市立大学大学院医学研究科感染防御学客員研究員

宮原 公子

1. 博士論文「車椅子競技者のスポーツ活動が骨密度に及ぼす影響」岡山大学大学院医歯学総合研究科 2007 年 9 月
2. 『臨地実習マニュアル』建帛社 p 29～34、p 70～81、p 97～99 2007 年 3 月
3. 講演 夏休み特別企画「バランスのよい食事をするためには」川上小学校児童・保護者および教職員 2007 年 7 月
4. 講演「小児期の健康支援についてー幼児教育機関における食育をとおした支援ー」新見市幼稚園教育研究会 2007 年 8 月
5. 講演・実習「元気な大人になるために」中国電力（株）親子講習会 2007 年 8 月
6. 講演・実習「食育の輪を広げましょう」NPO 食べて元気しあわせネットワーク 2007 年 8 月
7. 講演・実習「次代に伝えましょう 食文化ー伝統料理 正月料理ー」笠岡市消費生活問題研究会研修会 2007 年 12 月
8. 講演「青年期における食育のすすめ方」岡山県高等学校養護教諭研究会 2007 年 12 月
9. 栄養士・管理栄養士のための食育講座「健康づくりと食育」相愛大学人間発達学部公開講座 2007 年 8 月
10. 学会発表「車椅子競技者の骨密度の検討」第 77 回日本衛生学会 2007 年 3 月
11. 学会発表 10th Asian Congress of Nutrition Preferences and dietary patterns of students, based on school lunch menus 2007 年 9 月

12. 学会発表「栄養教諭免許履修学生が初期段階に立案する食に関する指導計画」第54回 日本栄養改善学会 2007年9月

\*現在の研究課題：スポーツ選手の医科学サポート（栄養サポート）、骨密度に関する研究、栄養教諭免許取得学生が行う食に関する指導に関する研究

\*社会活動：岡山県栄養士会 栄養サポート委員

特定非営利活動法人 食べて元気しあわせネットワーク委員

川崎フードモデル 食育教材アドバイザー

村 井 陽 子

1. 「小学校高学年の食生活と学習態度や意欲との関連性」大阪教育大学紀要第Ⅱ部門 社会科学 生活科学 第55巻、第2号、35-44 2007年
2. 管理栄養士コースで学ぶ～キャリアデザインのために～、同文書院、P. 118～P. 119 2007年4月
3. 「給食を通じた食育」と健康や学習態度・学習意欲との関連性、日本家政学会第59回大会研究発表要旨集、p. 95 2007年
4. The relation of dietary life and behavior to learning attitude and motivation in elementary schoolchildren The 14th Biennial International Congress of Asian Regional Association for Home Economics, List of Poster Presentations, p. 21 (2007)
5. 相愛大学人間発達学部公開講座「すこやかな心と体づくり」と食育－資料づくりとプレゼンテーション－ 2007年9月15日
6. 小・中学生の伝統的食材および簡便食品の摂取頻度と自覚症状の関連－食の簡便化と伝統的食材に関する食育の重要性－ 日本食育学会誌 第1巻、第1号、3-10 (2007)
7. 講演「食事バランスガイドについて」堺市役所 2007年12月19日（堺市栄養教諭・学校栄養職員特別研修会講師）

\*主な研究課題：a. 伝統的な食材に関する食育の重要性

b. 小学生の食生活と健康や学習態度・学習意欲との関連